

★ 消毒のポイント★

～二次感染を予防するために～

※/ロウイルスに対する消毒は、**塩素系消毒薬(次亜塩素酸ナトリウム)**や**加熱(85℃、1分間以上)**が有効です。
(その他、ロタウイルスやサポウイルス等にも有効です。)

◎塩素系消毒薬(5%(*1))のうすめ方(水でうすめて使います)

対象物	食器・調理器具	便・おう吐物で汚れた衣類・床・壁等
希釈倍数(濃度)	250倍(200ppm)	50倍(1000ppm)
うすめ液1ℓをつくる場合の目安	4ml(キャップ1杯弱) (ペットボトル500ml(*2)のキャップ)	20ml(キャップ4杯) (ペットボトル500ml(*2)のキャップ)

(*1) 塩素系漂白剤として市販されているものの多くは、塩素濃度が5%です。

(*2) ペットボトル(500ml)は計量容器としてのみ使用し、別の容器で薄めてください。(誤飲防止のため)

※塩素系消毒薬使用上の注意点※

- 手指や皮膚等の消毒には使用しないでください。
- 皮膚につけたり、目に入ったりしないように注意しましょう。
- 衣類等は、色落ちする可能性があります。
- 金属の場合はサビますので、30分ほど時間を置いてから水拭きしてください。
- 十分換気しましょう。
- 長期間保存していると薬品濃度が低下するので、開封後は早めに使用しましょう。
- 使用の度ごとに薄めて使い、作り置きは避けましょう。
- 冷暗所で子どもの手の届かない場所に保管しましょう。



◎便やおう吐物の処理方法

用意するもの

◆使い捨て手袋、マスク ◆新聞紙、ペーパータオル等

◆1000ppmの塩素系消毒薬 ◆ビニール袋等の密封できる袋2枚

① **ビニール袋は、口をあらかじめ広げておきます。**



② **腕時計・指輪等はずし、手袋・マスクをつけます。**

③ **便やおう吐物を新聞紙やペーパータオルで覆い、その上から塩素系消毒薬をかけた後、静かにふき取り、すぐに広げておいたビニール袋に入れます。**



*便やおう吐物が乾燥すると、ウイルスが空気中に漂い、それが口に入って感染することがあるので、処理はできるだけ早期に、確実にいきます。

④ **さらに塩素系消毒薬を浸したペーパータオル等で、便やおう吐物が付着した床や壁を外から内に浸すようにふき取り、広め*に消毒します。**

(※約1mの高さから嘔吐した場合、半径2m程度)

拭き取ったペーパータオル等はすぐにビニール袋に入れ、袋の口をしっかりと縛ります。

*処理した人の履物の裏にウイルスが付着することもあるので、床の処理が終わったら、履物の裏も消毒します。



⑤ **口を縛った袋をさらにもう1枚の袋に入れた後、裏返しながらいれた手袋も入れ、内側を触らないように口を縛って捨てます。**

⑥ **最後によく手を洗います。**



◎おむつの処理方法

便・おう吐物と同じように処理します。おむつは交換後に内容物が飛び散らないように、速やかに便を包み込むように閉じ、ビニール袋に入れます。複数人のおむつを交換するときは、一人の処理が終わったら必ず手を洗います。

